

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	◆学ぶ理由・学び方 「やる気の源泉」が習慣を変える／凡事徹底とは何か(20分)／学習がづらいのは「やり方を知らない」から／「心の本音」がやる気を育てる ／自己成長はどうやったら実感できるの？／やる気より、「感覚」と「仕組み」に頼る					
【前期】 9～13回目	◆自己理解 心と向き合い、感情を整理する習慣／自ら動いてもっとワクワク働こう／やりたいことを見つけるセルフコーチング／内省 キャリアの方向性を考える					
【前期】 14～19回目	◆さまざまな学び 「ほめ上手」と「ゴマすり」って何が違う？／NLPを知ってポジティブになろう／本気で変わりたい人の行動イノベーション					
【後期】 20～24回目	◆さまざまな思考 自己肯定感と自己効力感の違いって？／負の感情を前に進む力に変える／なぜポジティブのほうが目標達成しやすいのか？					
【後期】 25～33回目	◆リーダー・チーム 「集合知性」がチームでの成果をつくる鍵／内向型リーダーの強みを発揮するヒント／個人と組織のパフォーマンスを最大限に引き出す方法					
【後期】 34～38回目	◆まとめ・振り返り 「観・在り方」主導のキャリア／チャンスをつかみ取る人の習慣／ブレない自分をつくる7つの問い／先送りをなくす未来の自分デザイン					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	一般教養講座		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。					
授業概要						
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。						
到達目標						
社会人としての基礎的スキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～6回目	ガイダンス 受講方法と1年間の授業内容 仕事を想定したEメールの使い方:メールの基本、設定、送受信、アドレス帳の活用、署名の作成					
【前期】 7～12回目	他者に伝える説明:時系列で説明する、情報を整理(グループ分け)して説明する、話を要約して説明する、主観と客観を区別して説明する、指示の手順を考えて説明する					
【前期】 13～18回目	文章の書き方:「話し言葉」と「書き言葉」を区別して書く、5W1Hの要素を組み込んで書く ビジネス文書:ビジネスメールを送信する、ビジネス文書の種類を知る、社内文書の書式と文章作成					
【前期】 19～24回目	コミュニケーション論:コミュニケーションの考え方、言語コミュニケーション(対人/メディア/言葉の言い換え/リフレーミング/説得)・非言語コミュニケーション(表情、視線、傾き、相づち/他者との距離、パーソナル・スペース)					
【後期】 25～31回目	敬語表現:敬語の分類を知る/尊敬語・謙譲語の使い方、間違いやすい敬語、実践・仕事でよく使う敬語					
【後期】 32～38回目	履歴書の書き方:基本データ、自己PRと志望動機 心理学講座:自分を知る、社会からの影響、他者との関わり					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライティング講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ライティング講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/企画制作コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	音楽雑誌『CROSSBEAT』編集者を経て、2002年よりフリーランス。ライターとしてもこれまでに数多のインタビューを行なっている他、2002年よりフジロック・フェスティバルのオフィシャル・パンフ編集長。ライター、ラジオパーソナリティ、放送作家としても活動中。					
授業概要						
依頼文や手紙などの実用文章、レポート文、SNS、小論文など様々な文章の形態について学び、社会人としてのスキルを身につける。						
到達目標						
音楽業界で仕事をする上で必要な文章力を身につける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	文章の種類:仕事で求められる文章の種類、特徴について解説 語彙を増やす:適切な言葉を選べるようになるためのポイント					
【前期】 5～8回目	語彙を増やす:対義語・類義語のおさらい 語彙を増やす:感情表現のバリエーションを考える					
【前期】 9～12回目	思考訓練:物事を様々な方面から見る練習 思考訓練:名称から実態を想像する／ものに名前を付けてみる					
【前期】 13～16回目	体験したことを文章にする:自分の身に起こったことを文章で説明する 体験したことを文章にする:ライヴ・レビューの書き方					
【後期】 17～20回目	調査をして解説する:ニュースなどの詳細を調べて文章をまとめる練習 SNS時代の文章のまとめ方:メディアに合った文章					
【後期】 21～24回目	紙資料を作ってみよう:アーティストの魅力を伝える文章の書き方 紙資料を作ってみよう:互いの資料を読んで感想を伝え合う					
【後期】 25～28回目	論理的思考のための練習:原因と結果の考察 論理的思考のための練習:読み手を納得させる文章のポイント／言葉の再定義					
【後期】 29～30回目	実用的文章(メール):要件がわかりやすいメールの書き方 実用的文章(手紙):時候の挨拶を入れたフォーマルな手紙の書き方					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	分野別ワークⅠ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	分野別ワークⅠ		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース/アーティストスタッフコース/企画制作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	都内ライブハウスにて一般業務に加え、ステージ転換・照明オペレート等に従事する他、機材メンテナンスやフライヤー制作も担当。アーティスト対応や事前調整により円滑な進行に貢献し、重要公演の照明や主催イベントの制作を担当。					
授業概要						
音楽イベントの基礎知識(職種・舞台用語・機材・資料読解)を学び、パミリや転換などの基本技能を習得する。 実践的な転換・設営の練習を通して、総合的なイベント・現場対応力能力を養う。						
到達目標						
音楽イベントの流れや職種を理解し、舞台・機材に関する基礎知識を身につけるとともに、セット図や各種資料を読み取り作成できる力を養う。 パミリや転換作業を安全かつ的確に行い、状況に応じた柔軟な対応を通して、ステージ運営に必要な実務を遂行できる能力を習得する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～6回目	音楽業界・イベント構成における職種解説／イベントの1日の流れ・各セクションの動き／舞台用語					
【前期】 7～12回目	通常バンドセットの楽器の種類／ハの字巻き練習／アンプの種類／パミリ:立ち位置、アンプ、モニターのパミリ セット図、セットリスト:セット図の見方、必要な情報、セットリストの必要性					
【前期】 13～15回目	転換／パミリ、アンプ入れ替え／ライブ資料の読み解き・資料チェック／タイムテーブル作成において音響照明のポイント 楽器備品:マイクスタンド、箱馬etcステージで使う備品に関して					
【後期】 16～20回目	バンドセットの転換練習:通常、Key有無、SEQ有無、お立ち台有無、Drセット移動有無					
【後期】 21～25回目	バンドセットの転換練習:通常、Key有無、SEQ有無、お立ち台有無、Drセット移動有無					
【後期】 26～30回目	照明練習、転換練習／授業まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	制作ワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	制作ワーク	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	企画制作コース/舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大手レコード会社にて宣伝やアーティスト担当業務に従事。その後、プロダクション業務を経て、現在はフリーランスでマネージメント、プロモーション委託、イベント制作委託を請け負っている。					
授業概要						
コンサート・ライブ制作の基本を重点に多くの事を学んでいきます。						
到達目標						
コンサート・ライブ・イベント制作におけるスムーズな進行・管理・運営を目指す						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	舞台用語を学ぶ					
【前期】 6～10回目	イベントの組み方を知る 出演者ブックイングについて					
【前期】 11～19回目	予算について学ぶ プロモーションについて					
【前期】 20～28回目	SNSプロモーションについて 資料作成(タイムテーブル・セッティング図など)					
【後期】 29～36回目	企画ライブに向けて準備作業					
【後期】 37～44回目	企画書・タイムテーブル・セッティング図等 資料作成					
【後期】 45～52回目	イベントの実施・反省					
【後期】 53～60回目	1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PC実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	PC実習	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/レコーディングコース/PA&レコーディングコース/音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。					
授業概要						
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて						
到達目標						
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	iMacの電源の入れ方 各種アカウントの設定 Macの基本操作の確認					
【前期】 5～8回目	【Word】 Wordの使用方法 タイピング練習を兼ねた文字入力					
【前期】 9～12回目	【Excel】 簡単な計算 タイムテーブル作成					
【前期】 13～16回目	【イラストレーター導入】 基本ツールの説明 図形描画、色付け、最前面、最背面					
【後期】 17～20回目	【ペンツール】 直線を描く/スムーズポイント/コーナーポイント 直線から曲線への変化					
【後期】 21～24回目	・パスの修正の仕方 ・整列設定(等間隔)・回転、移動等 ・ペンツール総合問題					
【後期】 25～28回目	Excelによる計算法 Excelによる精算書作成					
【後期】 29～30回目	課題提出 1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	プロダクション実習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/企画制作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。					
授業概要						
自身が一つのプロダクションに所属していると想定しマネジメント、レコードメーカー、ファンクラブに分かれて役割を担いながら、それぞれのセクションでの動きを実践する。プロダクション実習Ⅰでは、2年次のプロダクション実習Ⅱの前段的な動きとして、イベントの実施方法や担当アーティストの発掘を授業内でおこなう。						
到達目標						
対外とのやり取りやイベントの実施方法、宣伝広告の方法論、アーティスト発掘の方法論の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	オーディション概要／どんなアーティストを募集するのか					
【前期】 6～10回目	必要な宣伝方法／募集要項／選考方法／スケジューリング					
【前期】 11～19回目	オーディションライブプレゼンテーション練習					
【前期】 20～28回目	オーディションライブプレゼンテーション本番					
【後期】 29～36回目	オーディションフライヤー作成／エントリーシートなどの作成					
【後期】 37～44回目	1次審査、2次審査についての内容を決定					
【後期】 45～52回目	選考締切～1次選考～結果通達					
【後期】 53～60回目	選考締切～2次選考～結果通達 次年度に向けたミーティング / アーティスト顔合わせ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	クリエイティブPC I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	クリエイティブPC I		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	企画制作コース/アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	広告プロダクションにて広告デザインに携わる。その後様々なプロダクションにてデザインの業務に従事し、現在は独立。CDジャケットや本の装丁を中心に、アートディレクター、デザイナーとして活動。					
授業概要						
Macの基本操作、Illustrator・Photoshopを使用した書類、印刷物などの作成方法、ファイルフォーマット知識等PCの基本的リテラシーを学ぶ。						
到達目標						
Google、Illustrator、Photoshopの基本的な操作法およびデータファイルのビジネスでの使い方の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	Excel ・時間割の作成・セル内縮小・改行 ・関数 ・アートワード・図形描画・重なり合い ・タイムテーブル作成					
【前期】 5～8回目	色彩 ・RGBとCMYK・キーとの組み合わせ他 ・フォントの用法 ・ペンツール練習 ・ダイレクト選択ツール ・重なり合い					
【前期】 9～12回目	Illustrator ・トレース練習 ・図形描画 ・レイヤー ・文字ツール ・テキストエリア ・整列 ・パス ファイン ・スポイト ・はさみ等 ・Illustrator&PDFデータ作成 入稿データ作成手					
【前期】 13～16回目	Photoshop ・調整レイヤーによる補正 ・選択範囲の作り方・クイックマスク illustrator&photoshop 入稿データ作成					
【後期】 17～20回目	web 基礎知識(Dreamweaver) ・インターネットの仕組み、ネットリテラシー等 ・拡張子による形式の違い/カラーコード 16進数					
【後期】 21～24回目	web 制作(Dreamweaver) ・タグの使用ルール・基本的なタグ サンプルページの作成 ・要素・属性・値/align・imgなど ・絶対パスと相対パス					
【後期】 25～28回目	web 制作(Dreamweaver) ・Illustrator&photoshopでWeb用画像素材の作成 ・サンプルページ完成					
【後期】 29～30回目	web 復習 CSSの使い方・違い・使い分け 総括					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						